

保護者様

ジェンダーレス制服の導入に関するアンケートにおけるご意見について

銚田市立大洋中学校 校長 下河邊 高

雨水の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。ご多用の中にもかかわらず、制服に関するアンケートの回答率が 93.9%という結果となりました。改めて感謝申し上げます。

さて、アンケートでは保護者の皆様から大変有意義なご意見をいただくことができました。様々な価値観や考え方に改めて気づかされることもありました。以下に保護者の皆様から寄せられたご意見を集約し、回答させていただきます。

金額に関するご意見(要旨)

- 金額は同程度、もしくはそれ以下で。 ズボンとスカートを購入して同程度の金額ということか。
- 制服の金額は現在の制服と同程度か、それ以下になるようにいたします。昨今の物価上昇の影響により、若干の値上がりはあるかもしれませんが、保護者の皆様から共感を得られる価格を念頭に制服業者と検討します。
 - 女子生徒の場合、ズボンとスカートの両方を購入した場合、現在の制服価格(約 4 万円)よりも高くなると考えられます。

移行・切り替えに関するご意見(要旨)

- 移行期間を設けてほしい。 在校生も新制服着用は可能か。
- 制服の移行期間を設けます。具体的な期間は PTA や市教委とも相談しながら決めていこうと考えております。
 - 在校生(現1・2年生)の制服購入、ズボンのみの購入については、購入できるようにしていきたいと考えております。

デザイン・機能性に関するご意見(要旨)

- 家で洗濯できる。手入れのしやすさ。動きやすい。 ポロシャツも選べるようにしてほしい
- 時代に合ったデザイン。伝統に根差したデザイン。 「大洋中」とわかるデザイン。
- 現在の制服について、着心地の悪さを挙げる生徒が多くおります。伸縮性や軽さ、自宅で洗濯ができるといった機能性を重視したいと考えております。
 - ポロシャツについて、機能性や経済性の面から有意義なご意見をいただけたと考えております。今後の選考の中で、採用される可能性もありますが、まずは新制服が決定してから議論してまいりたいと考えております。
 - デザインについては「不易流行」を念頭に、末永く支持されるデザインを検討できたらと考えております。

高校との接続について(要旨)

- ジェンダーレス制服を希望した場合の高校側の対応はどうか。
- 高校でのジェンダーレス制服については、高校ごとの対応になるかと思えます。高校ごとに校則が異なるため、差があるかもしれません。高校見学会などでご相談されることをお勧めいたします。

着替えについて(要旨)

- 男女別で着替える場所を設けてほしい。
- 空き教室の使用ができるかと思えます。現状では技能教科などの教具が置いてあります。例えば、1組は着替えて、2組は技能教科の教科書類を取りに空き教室に同じ時間に入る必要が生じています。着替えの時間などを工夫して取り組んでいこうと思えます。

裏面へ続きます

服装に関する規則全般について(要旨)

- なぜ制服なのか。
 - 式典はスカート着用になるのか。
 - 女子のタイツ着用を認めてほしい。
 - 男子にも配慮をしてほしい。
- 制服は所属を示し、集団としてのまとまりを形成するために有効であると考えております。また、生徒が公の場での身だしなみや、振る舞いを学ぶことができることから、本校にとって制服は必要であると考えております。
 - タイツの着用は現在のルール上でも可能になっています。しかし、体育や部活動時に着替えなければならない煩雑さから敬遠されているのが実情です。
 - 「式典はスカート着用」といった指導はいたしません。スカートかズボンのどちらかがあれば結構です。
 - ご指摘の通り、男子生徒への配慮が課題です。他校の事例を参考にして、できることから始めていきたいと考えています。
 - 服装に限らず、校則の見直しによって「学校が荒れる」ようになってはなりません。「校則・制服の見直し」は生徒会から始まりました。これまでの経緯を説明して、生徒や教職員が思いを共有して生活していけるようにしていきます。

新制服への移行について(移行そのものや移行プロセスに関するご意見)(要旨)

- 色々策が無い場合に制服を変えるべき。早すぎではないか。
 - 候補から生徒、保護者で選出してはどうか。
 - 周りの学校で変わり始めてからでよいのでは。
 - 変更によるいじめが心配である。
- 「移行が早すぎるのではないか」というご指摘について、新制服の話題が唐突であったこともあるかと思えます。その点において、本校として反省しております。令和6年度の導入について以下の3つの根拠をご提示させていただきます。
 - ① 現3年生を中心とした生徒会の取り組みが、「新制服の導入」という提案になりました。「彼らの想いを受け止めて行動すべき」という判断から、スピード感をもって議論してまいりました。
 - ② タイツやジャージという対応は局所的対応であり、制服を変更することによって抜本的な生活環境の改善ができると考え、今回に至りました。
 - ③ 今回実施したアンケートにて、92.8%の保護者が変更肯定的なご意見でした。生徒も97%が新制服に期待をしています。
- 新制服の決定方法について、最終的には全校生徒と保護者で決定していきたいと考えています。
 - 神栖第二中学校では、令和6年度から新制服に移行するという報道がありました。新制服によっていじめが心配だというお気持ちはごもっともです。変更の経緯をしっかりと伝え、生徒が正しいふるまいをできるように何度も何度も話し合っていきます。

異性間での着用について(要旨)

- 異性間で制服を引き継ぐのは、体系の違いなどから難しいのではないか。
- ボタンを性別によって付け替えられる上着もありますが、ご指摘の通り、体型の違いから男女間で引き継ぐことは難しいかもしれません。今後の選考結果次第というところでもありますが、男女ごとの体型に合わせた上着が選ばれている事例が多いようです。